

第11回総会を開催

舟田詔文氏が会長に就任

防草ブロック工業会
役員の大幅な若返りを実施。矢野明正会長と日下鉄二副会長が退任し、会長が退任し、後任の会長に川中洋太郎氏(大有コンクリート工業)が就任した。また理事では舟田詔光氏(坂内セメント工業所)、高橋清氏(イズコン)が退任。新たに藤原平明(豊國コンクリート工業)、貝沼英彦(アドヴァンス)両監事、および業)が理事に就き、後任の監事に左高美喜也氏(旭ダンケ)と後藤茂行氏(後藤商店)を選任した。工業会事務局は会長社の坂内セメント工業所(北関東営業所、栃木県那須塩原市)へ移管し、松本博之営業所長が事務局長を務めることになった。

舟田詔文氏、副会長に川中洋太郎氏(大有コンクリート工業)が就任した。また理事では舟田詔光氏(坂内セメント工業所)、高橋清氏(イズコン)が退任。新たに藤原平明(豊國コンクリート工業)、貝沼英彦(アドヴァンス)両監事、および業)が理事に就き、後任の監事に左高美喜也氏(旭ダンケ)と後藤茂行氏(後藤商店)を選任した。工業会事務局は会長社の坂内セメント工業所(北関東営業所、栃木県那須塩原市)へ移管し、松本博之営業所長が事務局長を務めることになった。

昨年度の防草ブロックの施工実績は89・1kmで、総延長は約630kmとなつた。実績が多いのは関東、東海、信越・北陸の順。特に信越・

北陸は会員社が2社と少ないもの

なつた。同工業会の基準による「防

草ブロックを敷設したことによる

年間CO₂排出削減量」は206

トンで、累計では1403トンになつた。

同工業会には新たに古谷コンクリート工業(北海道)、上田商会(同)、太平洋建設工業(同)、ゴトウコンクリート(愛知県)、東海ヒューム管(岐阜県)、桜コンクリート(岐阜県)が加入し、会員社は69社になつた。

支部活動では、昨年8月に東北防草ブロック工業会(会長=舟田詔光氏、坂内セメント工業所)、今

年5月に全国防草ブロック工業会(会長=佐藤倫正氏、高見澤)が発足。全国12支部体制となり、近畿(兵庫、滋賀、大阪)でも支部の設立を予定している。

販促活動では、EE東北202

の3・5倍程度まで増加し、一般

ようとしている。我々も新しい時代に向けて、様々なチャレンジをして脱炭素社会の実現に貢献することが求められている。新役員と会員の皆さんのが連携・協力して更なる工業会の発展と防草ブロッ

クの普及を果たして参りたい」と

技術部会が進めるフィールド試験では、新たに石川県内の金沢外環状道路海側幹線で、歩道境界

ブロックが150mにわたり採用となり、アドヴァンス(新潟県)が

コハマ2021に出展。また栃木支部では、県庁内のエレベーター

とトイレに防草ブロックのポスターを掲示する取組みを行つた。

技術部会が進めるフィールド試験では、新たに石川県内の金沢外環状道路海側幹線で、歩道境界

ブロックが150mにわたり採用となり、アドヴァンス(新潟県)が

コハマ2021に出展。また栃木

支部では、県庁内のエレベーター

とトイレに防草ブロックのポスターを掲示する取組みを行つた。

技術部会が進めるフィールド試験では、新たに石川県内の金沢外環状道路海側幹線で、歩道境界

ブロックが150mにわたり採用となり、アドヴァンス(新潟県)が

コハマ2021に出展。また栃木

支部では、県庁内のエレベーター

とトイレに防草ブロックのポスターを掲示する取組みを行つた。

技術部会が進めるフィールド試験では、新たに石川県内の金沢外環状道路海側幹線で、歩道境界

ブロックが150mにわたり採用

となり、アドヴァンス(新潟県)が

コハマ2021に出展。また栃木

支部では、県庁内のエレベーター

とトイレに防草ブロックのポスターを掲示する取組みを行つた。



舟田新会長

役員の大大幅な若返りを実施。矢野明正会長と日下鉄二副会長が退任し、会長が退任し、後任の会長に川中洋太郎氏(大有コンクリート工業)が就任した。また理事では舟田詔光氏(坂内セメント工業所)、高橋清氏(イズコン)が退任。新たに藤原平明(豊國コンクリート工業)、貝沼英彦(アドヴァンス)両監事、および業)が理事に就き、後任の監事に左高美喜也氏(旭ダンケ)と後藤茂行氏(後藤商店)を選任した。工業会事務局は会長社の坂内セメント工業所(北関東営業所、栃木県那須塩原市)へ移管し、松本博之営業所長が事務局長を務めることになった。

舟田新会長は就任にあたり、「まず矢野会長のこれまでのご努力に敬意を表したい。私も矢野会長同様、工業会発足前から防草ブロックに携わってきたが、会員各社の協力により当工業会は70社近くの環境賞をはじめ8つもの日本を大きな組織となり、また2013年の環境賞をはじめ8つもの日本を代表するアワードを受賞することができたのだと思う。工業会が11年目を迎えるタイミングで、役員は大幅な若返りを果たしたが、世界はSDGsや脱炭素という新たなキーワードを軸に大きく変換し

所となつた。栃木県防草ブロック工業会が納入した。また宮城県仙台市では、宮沢根白石線の中央分離帯に境界ブロックが100m採用となり、坂内セメント工業所(福島県)が製品を納めた。これにより東海、信越・北陸の順。特に信越・

北陸は会員社が2社と少ないもの

なつた。同工業会の基準による「防

草ブロックを敷設したことによる

年間CO₂排出削減量」は206

トンで、累計では1403トンになつた。

同工業会には新たに古谷コンクリート工業(北海道)、上田商会(同)、太平洋建設工業(同)、ゴトウコンクリート(愛知県)、東海ヒューム管(岐阜県)、桜コンクリート(岐阜県)が加入し、会員社は69社になつた。

支部活動では、昨年8月に東北防草ブロック工業会(会長=舟田詔光氏、坂内セメント工業所)、今

年5月に全国防草ブロック工業会(会長=佐藤倫正氏、高見澤)が発足。全国12支部体制となり、近畿(兵庫、滋賀、大阪)でも支

部の設立を予定している。

販促活動では、EE東北202

の3・5倍程度まで増加し、一般

jWBA® の道路二次製品は 年間「1000t以上」のCO₂を削減しています

【北海道・東北】	【関東】	【近畿】	【中国】	【九州・沖縄】	
山田産業(㈱) ㈱旭ダンケ 北陵ジー・アール・シー工業(㈱) 東陽上村アドバンス(㈱) 太平洋建設工業(㈱) ㈱上田商会 古谷コンクリート工業(㈱) ㈱坂内セメント工業所 工藤コンクリート(㈱) 中栄コンクリート工業(㈱) ㈱北斗型枠製作所*	太陽コンクリート工業(㈱) トキワコンクリート工業(㈱) ㈱赤城商会 ㈱エコム カイエー共和コンクリート(㈱) SRCコンクリート(㈱) ㈱共和飯塚 新生興産(㈱) ㈱飯塚セメント工業所 富山コンクリート工業(㈱)	小河原セメント工業(㈱) ㈱武井工業所 柳沢コンクリート工業(㈱) ヤマケイプレコン(㈱) ㈱日東 大丸コンクリート(㈱) 三洋コンクリート工業(㈱) 千葉窯業(㈱) 豊国コンクリート工業(㈱) 岡村建興(㈱)	カサイコンクリート(㈱) 山陰コンクリート(㈱) ソイル工業(㈱) 桜コンクリート(㈱) 日本ワイドクロス(㈱)* 共和ゴム(㈱) *	㈱イズコン 和光産業(㈱) ㈱後藤商店 ㈱環境ミネルバジャパン* 山口道路興業(㈱)	下村コンクリート工業(㈱) 沖縄コンクリート二次製品(協) 森山工業(㈱)* ㈲中野工業所 *
【中部・北陸】	【四国】	【四国】	【四国】	【四国】	
矢野コンクリート工業(㈱) カネヤス建材工業(㈱) 大有コンクリート工業(㈱) ゴトウコンクリート(㈱) ㈱丸治コンクリート工業所 協和コンクリート工業(㈱)	㈱東海ヒューム管 松阪興産(㈱) 石田鉄工(㈱) 土屋建材(㈱) ㈱高見澤 ㈱アドヴァンス	㈱三秀* トーエイ(㈱)* ㈱カシハラ 松井建材(㈱) ㈱大地* ㈱キクノ	㈱カシハラ 松井建材(㈱) ㈱大地* ㈱キクノ	* 賛助会員	

次世代道路インフラ・デザイン

<http://jwba.biz>

JWBA地域支部

全国防草ブロック工業会北海道支部／東北防草ブロック工業会／栃木県防草ブロック工業会／群馬県防草ブロック工業会／茨城県防草ブロック工業会
埼玉県防草ブロック工業会／神奈川県防草ブロック工業会／全国防草ブロック工業会長野支部／全国防草ブロック工業会東海支部
全国防草ブロック工業会近畿支部／山口県防草ブロック工業会／全国防草ブロック工業会四国支部／沖縄県防草ブロック工業会

私たちの防草製品・技術は、日本を代表する大学、国の研究機関の有識者から唯一「環境技術製品」として高く評価されています。

jWBA 全国防草ブロック工業会

【新事務局】栃木県那須塩原市緑1丁目13-117 (株)坂内セメント工業所内
Tel : 0287-39-2355 Mail : kitakanto@bannai-cement.co.jp (松本)